

■ 目標値未達成の要因について

[1]

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の目標値	R2年度の実績値
事業利用による支援企業の成果 売上・営業利益・雇用者数の改善 (D I)	-	府内DI値に上乘せする 売上高変化DI 37、損益 変化DI 32、従業員数変 化DI 17	府内DI値に上乘せした 売 上高変化DI 20、損益変 化DI 16、従業員数変化 DI 20

未達成の要因と分析	<p>R2実績はR2年度に当財団サービス利用企業の売上・営業利益・雇用者数の対前年比における改善 (DI) と府内DIの乖離幅となる新、新型コロナウイルス感染症で社会全体の景況が悪化する中、財団アンケートにおいても、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の悪化に伴う「購買意欲低下」「営業機会損失」「受注減少」などの機会損失を要因とする回答が多くを占めた。</p> <p>これに加え、施設の利用制限や面談機会の喪失等により財団サービスの提供ができなかったことなどから、財団サービス利用企業への支援低下につながったものと分析する。</p>
-----------	---

今後の改善方策	<p>より多くの企業に支援メニューをご利用いただけるように、支援サービスの向上に努めるとともに、府D I 値との比較の手法等、より適切な目標設定となるよう、引き続き検討をしていく。</p>
---------	--

[2]

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の目標値	R2年度の実績値
国際ビジネス支援 (海外取引相談、商談等) 件数	件	1,100	1,039

未達成の要因と分析	<p>ミャンマー現地での政情悪化による影響で、令和3年3月9日～11日に予定していた「ミャンマー企業とのバーチャル展示商談会」が中止になったことにより、商談件数が減 (予定件数: 100件) となり、目標を多少下回った。</p> <p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示商談会準備着手 R2.11.4</li> <li>・ミャンマー国軍によるクーデター R3.2.1</li> <li>・事業実施の中止判断 R3.2.26</li> </ul>
-----------	--

今後の改善方策	<p>今後は、オンラインによる国際ビジネス相談、Web展示商談会等への出展やビジネスサポートデスク等のサービス利用促進を図るためのPR活動を強化するなど、目標達成に向けて積極的な取り組みを進める。</p>
---------	--

## ■ 目標値未達成の要因について

〔3〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
事業承継計画策定 件数	件	1,220	541

未達成の要因と分析	<p>本件数は当財団が管理運営する事業承継ネットワークでの対応件数である。</p> <p>R2年度においては、コロナ禍の影響を受け、事業承継ネットワークの参画機関である商工会・商工会議所や金融機関等が、各種支援金や協力金、融資相談等の対応を優先せざるを得ない状態となった。</p> <p>特に、R元年度の事業承継ネットワークとしての実績1,413件のうち944件と大きな割合を占めていた金融機関の実績が、これによりR2年度に240件と大きく減少したことが大きな要因である。</p>
-----------	--

今後の改善方策	<p>R3年度においては、「産業競争力強化法」の改正に伴い、大阪商工会議所の実施する「事業承継・引継ぎ支援センター」の実施協力機関として、国事業の再委託を受けることとなった。これに伴い、新たに設置されたエリアCOによるネットワーク参画機関への訪問による関係強化と、参画機関と協力開催するセミナーなどで、エリアCOが参加者に対して事業承継診断等を実施、参画機関との連携強化を図ることで件数の回復に努める。</p>
---------	---

〔4〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
設備貸与事業額	億円	19.0	16.0

未達成の要因と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により製造業の設備投資計画が減退したことや、ものづくり補助金が通年受付となり、途中5回に分けて採択を決定（前年度受付・採択2回）したこと等から、設備貸与事業への需要が減少した。</li> <li>・84件（前年度：81件）の利用申込があったが、1件あたりの申込額が2,634千円減少した。</li> <li>・なお、中小企業の設備投資計画の対前年度比の大幅な落ち込み（△10.2%日銀短観）から、コロナ禍が無ければ2億程度は上積みされたものとみられ、上述の要因とも合わせると目標圏内にあつたと推察される。</li> </ul>
-----------	--

今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国最優遇水準の利率を維持するとともに、商工会・商工会議所、行政の商工施策や、当財団の各支援サービスとの連携等を通じて、利用促進を図る。</li> <li>・新たにSNSを活用した情報発信により広報の強化を図るとともに、HP、DM等広報の改善を図る。</li> </ul>
---------	--

■ 目標値未達成の要因について

〔一〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
一般正味財産増減額 (事業実用資産・納税準備積立 資産・貸倒引当金の増減額を除く)	千円	△ 230,000	△ 278,847

未達成の要因と分析	<p>令和 2 年 5 月の緊急事態宣言解除後、新型コロナ感染拡大予防ガイドラインを遵守しつつ、顧客の獲得と収益額の確保に努めたが、同年 12 月からの新型コロナウイルス感染症の再拡大により、利用キャンセルが相次ぎ、展示場収益が 60,000 千円以上減少。これに伴い、関連する事業収益が減少した。</p>
-----------	---

今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度は、ワクチン大規模接種会場としての利用による収益確保による財務改善が見込まれるものの、顧客確保を図るため、以下に記載するこれまでの取組も継続していく。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用時期の変更を柔軟に行い、キャンセルを最小限に留める。</li> <li>・前払金支払いへの変更に伴い返予約から本予約移行を促進し、キャンセル料の回収を図る。</li> <li>・リアル+リモートのハイブリッド展示会の提案をはじめとした、新しい形態の展示場利用を想定した営業の展開する。</li> <li>・積極的なPR活動（SNS等）を活用し周知向上を図り、催事誘致を促進する。</li> </ul>
---------	---

〔一〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
/	/	/	/

未達成の要因と分析	/
-----------	---

今後の改善方策	/
---------	---